

けんぱくものしりシート

ざいく
わら細工



「庶民の暮らし」のコーナーでは「わら」で作られたものをたくさん紹介しています。「わら」とは稲・麦などを*脱穀(けんぱくものしりシート民俗No. 4を見てね)したあとに残る莖の部分です。さて、「わら」で作られたものは

①誰が②何のため(使い道)に③どのようにして作っているのか、みんなで



見ていきましょう。

これは「みごなわ」。*わらをねじるよ

うにしてひも状にします(*裏を見て

ね)。わら細工の元になる大切な部分で

す。これができて一人前と言われる程、

重要な作業。この「みごなわ」からす

べて手作業で作っているのです。

これは?



Q①誰が作っているの?

A: 農家の人々が家族総出で作ります。冬になって農作業が一段落した時期(農閑期)に、暖かくなる春を待ちながら作製します。

Q②何のために作っているの?

A: 衣食住、運搬、信仰・年中行事に使う物をはじめ、日常生活に深く関わる様々な物を作ります。

(下の例は全て展示室で紹介しています。探してみてくださいね。)

「衣: 身につける物」わらじ・ぞうり・みのなど 「食」べんけい・なべしきなど

「住」*かやぶき屋根・*家の壁・いじこなど

(*当館屋外展示の民家でも使われています。)

「運搬: 物を運ぶための道具」たわら・背中あてなど

「信仰・年中行事」ワラ人形・馬ッこなぎのわら馬など



Q③どのようにして作っているの？

A：では、ここで「*草履」を例に、作っている様子（工程）を見てみましょう。

*草履：わらで編んだ台の上に*鼻緒をつけた履物です。水にぬれても泥道を歩いてもすべることがなく、泥はねもしない、優れもの！よく考えて作っています。



げんりょう
原料になる「わら」をたたいて柔らかくします。そしてねじるようにして「みごなわ」を作ります。この“ねじる”作業を「なう」といいます。

ぞうり
草履やわらじ、たわら、など、作るものによって違った編み方をします。それぞれの使い道に適した編み方をします。

だ
はみ出したりした余分なわらを切り取ったりなど、形を整えて仕上げをします。
かん せい
完成！



ケンくん

～ケンくんが調べた「わら」の豆知識～



ハクちゃん

「わら」を漢字で書くと「藁」。この漢字のつくりを下から読んでみて。“木”よりも“（価値の）高”い“草（くさかんむり）”と書くよね。藁は「お米の親」とも呼ばれるんだって。僕たちは、お米をはじめ、自然の命を頂いて（食べて）生きている。だから食事の時は「いただきます」って言うんだよね。お米、魚、肉、野菜…。僕たちを生かしてくれている自然の命に感謝する心を忘れずに過ごしていこうね。

参考 『北国のわら細工』岩手県立博物館 1986年/ 『藁のちから』遠野市立博物館 1999年
『藁の民俗』仙台市歴史民俗資料館 2004年 他

らいげつ がつ
来月（5月）の
けんぱくものしりシートは
げんせい せいぶつ
現勢・生物-14だよ！
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/